

東京都立六郷工科高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：工業：デュアルシステム科 科 目：電気実習 単位数：3単位

対象学年組：第3年次5組

教科担当者：(F組：樋口 和也 (印) 中村 天奎 (印))

使用教科書：(精選電気基礎 新訂版(実教出版))

使用教材：(なし)

	指導内容	科目：電気実習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	リレーシーケンス制御 raspberrypi実習	リレーを用いて、実際に配線を行うことで、リレーシーケンスについて理解する。 raspberrypiとセンサを用いて、Pythonにより、プログラムについて理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	12
5月	リレーシーケンス制御 raspberrypi実習	リレーを用いて、実際に配線を行うことで、リレーシーケンスについて理解する。 raspberrypiとセンサを用いて、Pythonにより、プログラムについて理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	4
6月	リレーシーケンス制御 raspberrypi実習	リレーを用いて、実際に配線を行うことで、リレーシーケンスについて理解する。 raspberrypiとセンサを用いて、Pythonによるプログラム方法について理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	0
7月	リレーシーケンス制御 raspberrypi実習	リレーを用いて、実際に配線を行うことで、リレーシーケンスについて理解する。 raspberrypiとセンサを用いて、Pythonによるプログラム方法について理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	4
8月				
9月	リレーシーケンス制御 raspberrypi実習	リレーを用いて、実際に配線を行うことで、リレーシーケンスについて理解する。 raspberrypiとセンサを用いて、Pythonによるプログラム方法について理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	16
10月	シーケンス制御 Arduino実習	プログラムリレーのシミュレーション機能を用いてリレーシーケンスの基本について学習する。 Arduinoとセンサを用いて、C言語によるプログラム方法について理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	8
11月	シーケンス制御 Arduino実習	プログラムリレーのシミュレーション機能を用いてリレーシーケンスの基本について学習する。 Arduinoとセンサを用いて、C言語によるプログラム方法について理解する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	8
12月	ソリッドワークス実習	3次元CAD設計ソフトウェアとして、広範囲に利用されているSOLIDWORKSについて、部品の作成に関する基本を習得する。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	4
1月	アプリケーション実習	長期就業訓練企業向け発表会に向けて、パワーポイントによるプレゼンテーション作成を行い、発表資料を完成させる。	①出席状況(健康で実習できること。) ②取り組みの成果(実習成果・課題) ③レポート・課題の提出	8